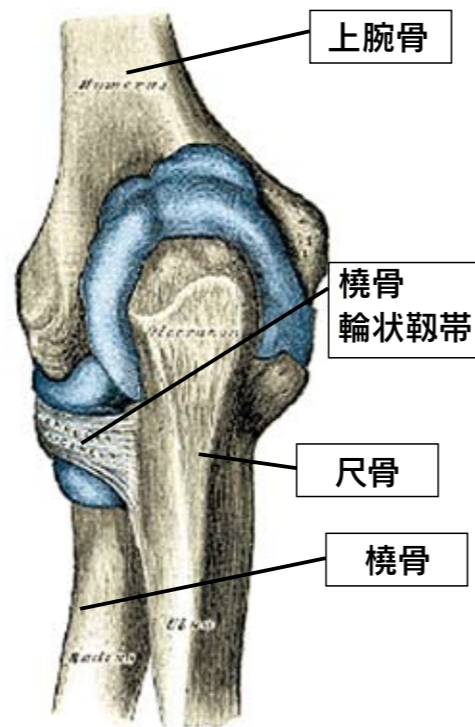


第37集 「肘内障について」

山都町立蘇陽病院 副院長 大城 一

「肘内障（ちゅうないしょう）」、あまり耳慣れない病気の名前かもしれませんが、2～4歳の小児に比較的好くみられる疾患です。乳幼児が特に転んだりしていないのに、腕を痛がって手を使わなくなるという状態です。その多くは親が手を引っ張ったり、何処かにぶら下がったりした後で、腕の痛みを訴えるケースが多いようです。

肘の関節は肘から上の上腕骨と肘から前の尺骨（しゃっこつ）と橈骨（とうこつ）の3つの骨から成っています。図は右手の骨の構造ですが、親指側の橈骨（とうこつ）と、隣の尺骨とは橈骨輪状靭帯（とうこつりんじょうじんたい）という靭帯でつながっており、この輪状靭帯が橈骨の頸部に掛かり頭部によって抜けなくなっています。しかし、骨格が未発達な乳幼児は、頭部と頸部のくびれが浅く、手を強く引っ張られる事によって橈骨小頭が輪状靭帯から抜けかかった状態になると言われています。完全に関節から骨が抜けてしまう脱臼ではなく、不完全な亜脱臼の状態です。



その症状は・・・

- ・腕を痛がって泣いている。
- ・腕を動かさなければ泣かないが、少しでも肘を曲げようとすると泣く。
- ・腕をだらりと下げたまま使わない。
- ・痛い場所に関しては、乳幼児の場合正しく伝えられない事が多く、手が痛いと言ったり、肩が痛いと言ったりする事も多いのですが、実際は肘に痛みがあります。腫れはありません。
- ・肘を曲げようとしません。曲げようとすると痛がります。

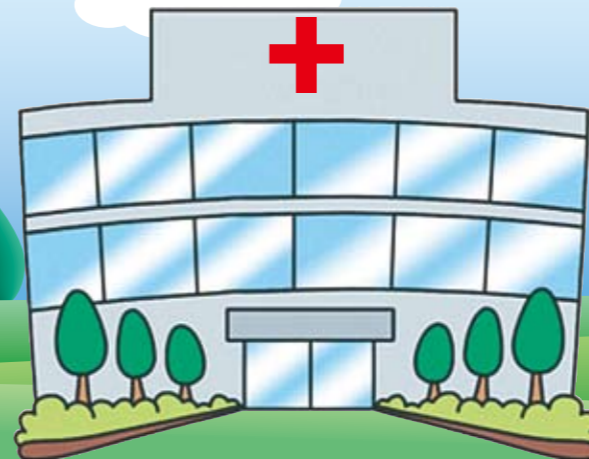
その原因は・・・

- ・親が手を引っ張った。
- ・大人が手を持って子供を振り回した。
- ・子供同士で引っ張り合った。
- ・鉄棒にぶら下がった。
- ・服を脱がしていて。
- ・寝返りをして。

治療方法

亜脱臼の状態のため、徒手整復で比較的容易に整復できます。整復されると、その場で痛みもなくなり、手を動かすようになります。

このような症状が見られた場合、早めに医療機関を受診してください。中には習慣化し、“癖に”なってしまう子どももいますが、小学校に入学する頃には骨格が発達してきますので、ほとんど起こさないようになってきます。



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」

もっと知りたいクスリの話

第9集 かぜ薬について

山都町立蘇陽病院 薬剤科 奥村真利子
監修 院長 水本 誠一

かぜの原因はウイルスによる感染がほとんどです。疲労、睡眠不足などで体力がおちると、抵抗力が低下し感染しやすくなります。残念ながらインフルエンザなど一部を除いてウイルスに直接効く薬は今のところありません。したがって、かぜ薬はかぜを直接なおすわけではなく、くしゃみ、鼻水、のどの痛み、咳、発熱といった症状をやわらげるために使用されます。

かぜ薬には、数種類の成分を組み合わせた総合感冒薬と、症状に合わせて成分が配合されている薬があります。病院で診察したときは医師が症状に合わせて薬を処方しますが、市販薬を購入するときは、薬剤師に症状を詳しく説明し、どの薬がよいか相談されるほうがよいでしょう。また、定期的に飲む薬と、発熱や咳がひどいとき等に頓服で飲む薬等、用法が異なるものがありますので医師や薬剤師にしっかり確認をしましょう。

正しいうがい方法

（うがいはウイルスや菌などが体に侵入することを防ぎます）

- ① 食べかすなどを取り除くため、水または希釈したうがい薬で、口の中の隅々をゆすぎます。
- ② 水または希釈したうがい薬を口に含んで上を向き、15秒程度「ながら」音をたててうがいをします。
- ③ ②と同様に15秒ほどかけて、うがいを何回か繰り返します。

正しいトローチの使い方

できるだけゆっくりと口の中で溶かしてください。口やのどに直接作用して炎症を抑えます。かみくだいたり、飲みこんだりすると効果はありません。

誤って気道に入り込んでしまっても息が詰まらないように真ん中に穴が開いています。

お薬 ひとつ

感染をふせぐために外出先から帰ったらこまめに、うがい、手洗いをしましょう。

